

## 自然科学研究科環境・エネルギー工学専攻 修士課程 アドミッションポリシー

求める学生像	
<p>環境・エネルギー工学専攻では、自然科学に関する基礎的な素養と環境・エネルギー分野に関する専門的な知識を有し、専門的な業務に従事するために必要な能力又は独創性豊かで優れた研究・開発能力を身につけ、かつ高い倫理観を備え国際社会に適応する人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。</p> <p>(1)科学分野の幅広い知識と環境・エネルギー工学分野における高度な専門的知識・技術を修得するため、大学又は相当する教育機関において、環境・エネルギー工学に関する基礎的な学力を身につけている。</p> <p>(2)環境・エネルギー工学分野における研究・開発能力を得るために、高度で幅広い専門的知識と技術及び論理的思考力を身につけることができる。</p> <p>(3)高度職業人又は研究者として独創性豊かで優れた研究開発能力と高い倫理観を備え、問題を発見し解決する意欲、国際社会に適応する意欲をもっている。</p>	
入試区分	評価方針
一般入試	大学又は相当する教育機関を卒業あるいは卒業見込みの者を対象として、化学と物理に関する基礎学力と外国語の能力をしっかりと身につけ、本専攻で単位取得と研究活動を通して修士論文の作成へと発展していけるかどうかを、出願書類と筆記試験の成績及び口頭試問によって評価します。
社会人入試	大学卒業後、一定以上の社会経験を積んだ者を対象として、化学と物理の分野に関連した科目についての専門的学力、研究・業務業績を有し、単位取得と研究活動を通して修士論文の作成へと発展していけるかどうかを、出願書類と口頭試問によって評価します。
学内推薦	甲南大学理工学部卒業見込みの者を対象として、化学と物理の成績に基づいて、単位取得と研究活動を通じた修士論文の作成へと発展していけるかどうかを、出願書類によって評価します。
学内推薦 専修免許取得 支援プログラム	甲南大学理工学部卒業見込み、かつ、教職課程を学んで教員免許を取得した者を対象として、化学と物理の高度な専門知識を備えた教員となるための資質を有しているかどうかを、出願書類と口頭試問によって評価します。
外国人 留学生入試	日本の大学に相当する教育機関を卒業あるいは卒業見込みである者を対象として、基礎学力をしっかりと身につけ、環境・エネルギー工学専攻で単位取得と研究活動を通して修士論文の作成へと発展していけるかどうかを、出願書類と筆記試験の成績及び口頭試問によって評価します。
AO入試	大学又は相当する教育機関を卒業あるいは卒業見込みの者を対象として、大学の専門教育を通じて化学・物理分野の研究活動に並々ならぬ熱意と意欲を持ち、本専攻での研究・学修を熱望する人材に対して、従来の筆記試験では評価できない研究遂行能力と資質を出願書類と口頭試問により評価します。